龍谷大学 > 理工学部 > 数理情報学科 > 樋口 > 担当科目 > 2007 年 > 理論物理学特論 aka 集合 位相 + 演習 II > 02 回め

目次 前回 次回 略解

理論物理学特論aka集合 位相+演習II

樋口さぶろお¹ 配布: 2007-04-12 Thu 更新: Time-stamp: "2007-04-18 Wed 20:21 JST hig"

1 略解 – 論理の言葉で語ろう

- $1. \ x$ を任意の実数とする. |x|<4 の場合と, $|x|\geq 4$ の場合に場合わけして考える. ケース |x|<4 では \lor の左側の条件が成立するので真. ケース $|x|\geq 4$ では \lor の右側の条件が $x^2+2x-1=(x+1)^2-2>0$ となり成立するので真. よって証明された.
- 2. 命題の否定を証明する. ド-モルガン型の法則から, $\exists x \in \mathbb{R} \neg ((|x| > 4) \land (x^2 + 2x < 1))$ をいえばよい. すなわち反例をあげればいい. 実際, このような x の例として, x = 0 がある. \land の左側の条件が成り立たないので偽.

2 quiz - 集合の言葉で語ろう

- 1. $S_1 = \{(x_1, x_2) \in \mathbb{R}^2 | |(x_1, x_2)| < 1\}$, $S_2 = \{(x_1, x_2) \in \mathbb{R}^2 | |x_1| < 1 \land |x_2| < 1\}$ とする. $S_1 \subset S_2, S_1 \supset S_2, S_1 = S_2$ のうち成り立つものを証明し、成り立たないものには反例を挙げよう.
- 2. $S =_1 = \{x \in \mathbb{R} | \exists y \ (xy < 0 \land y > 0)\}, \ S =_2 = \{x \in \mathbb{R} | \forall y \ (xy \leq 0)\}$ とする. x = 0 は S_1, S_2 の元か? また, S_1, S_2 を数直線上に図示しよう.

今日の範囲に対応する教科書のお奨め問題

問題 1.4(p.14), 問題 1.5(p.14), 問題 1.6(p.15), 問題 1.7(p.16), 問題 1.8(p.17).



http://hig3.net/ 目次 前回 次回 略解

¹Copyright ©2007 Saburo HIGUCHI. All rights reserved. hig@math.ryukoku.ac.jp, http://hig3.net(講義のページもここからたどれます), へや:1 号館 5階 502.